

永井 茂 (1990c) : 地下水の無機汚染の実態と問題点. 水, **32**, No. 9, 18-25.

永井 茂・吉川清志 (1991) : 地下水汚染の水化学的研究(5). 日本地下水学会1991年度春季講演会要旨, 6-9.

杉崎隆一・柴田 賢 (1961) : 地下水の地球化学的研究(第2報) —濃尾平野における地下水と地質構造の関連性—. 地質学雑誌, **67**, 427-439.

田淵俊雄 (1989) : 霞ヶ浦の汚濁と農業活動. 日本地下水学会1989年度秋季講演会要旨, 80-83.

田口雄作・石井武政・安原正也・丸井敦尚・永井 茂・吉川清志・風早康平・遠藤秀典・内田利弘・高倉伸一 (1990) : 先端

技術産業に係る環境汚染物質の拡散予測とモニタリング手法の開発に関する研究(Ⅱ) 深層地下水の汚染・拡散機構の解明. 環境庁企画調整局環境研究技術課編, 平成元年度 環境保全研究成果集, 104-II, 1-23.

NAGAI Shigeru (1992) : The real state and issue of inorganic contamination for underground water in Japan.

<受付: 1991年5月24日>

1992年度地質調査所研究講演会

21世紀のエネルギー：地熱

わが国に豊富に賦存する地熱エネルギーの有効利用は着実に進められてきているが、その努力が真に開化するのは来世紀に入ってからになるだろう。地質調査所は早くからわが国の地熱資源に注目し、「サンシャイン計画」のもとで賦存状態を明らかにするための手法・探査技術開発に取り組んできた。ここでは、これまでの取り組みによって得られた結果をもとに、将来のエネルギー源として地熱を考える。

日時: 1992年6月12日(金) 11:00—16:45

会場: 三会堂ビル9F, 石垣記念ホール

東京都港区赤坂 1-9-13 Tel. 03-3582-7451

主催: 工業技術院地質調査所

(財)日本産業技術振興協会

問い合わせ先: 工業技術院地質調査所 業務課広報係

〒305 茨城県つくば市東 1-1-3

Tel. 0298-54-3520 Fax. 0298-54-3533

交通: 地下鉄丸ノ内線, 千代田線国会議事堂前駅下車徒歩6分, 地下鉄銀座線虎ノ門駅下車徒歩6分

参加費: 無料(ただし, テキスト代実費)

申込先: (財)日本産業技術振興協会

〒105 東京都虎ノ門 1-19-5 虎ノ門1丁目森ビル5階

申込方法: 参加申込用紙に参加者の氏名, 所属等をご記入の上, 申込先へお送り下さい。電話, Fax. での申込もお受け致します。

<プログラム>

司会 地質調査所 企画室長	
あいさつ	11:00—11:15
日本産業技術振興協会 専務理事	
地質調査所長 小川 克郎	
21世紀の資源・環境と地熱エネルギー	11:15—11:35
地質調査所長 小川 克郎	
地熱エネルギー開発利用への取り組み	11:35—12:00
地熱熱部長 長谷 紘和	
昼食	12:00—13:00
司会 地質調査所 地殻熱探査課長	
特別講演: 火山の恵み—その地熱との関わり	13:00—13:40
北海道大学理学部教授 荒牧 重雄	
熱水系の深部環境を地球化学データから予測する	13:40—14:20
北海道支所地域地質課長 茂野 博	
地熱調査における物理探査の現状と展望	14:20—15:00
地殻熱物性課長 川村 政和	
休憩	15:00—15:20
地球環境と地熱資源量評価	15:20—16:00
地殻熱探査課主任研究官 宮崎 芳徳	
特別講演: 米国 グレートバイズンおよびザ ガイザーズ・	
クリアレイク地域の地熱資源	16:00—16:40
ネバタ大学客員教授 陶山 淳治	
閉会のあいさつ	16:40—16:45
地質調査所次長 佐藤 壮郎	